

6月1日の国際児童節^注には女王谷（現在ギャロンと呼ばれる地域のチベット語の原名“rGyalmorong”の意識）各地の小学校で学園祭が盛大に開かれます。特に四姑娘山の西側下流に在り古い文化を良く残す丹巴県の学園祭では芸達者な子供たちの舞踊が見もので親や親戚等が会場に押し掛けます。

学園祭の午前の部では県政府トップの祝辞に続いて子供達の行進や優秀者の表彰が行われ、午後の部では子供たちの舞踊が披露されます。豊かな自然の中で伝統を大切に育てられた丹巴の子供達は小さい時から歌や踊りに馴染んでいて、学園祭のような時には気後れせず積極的に参加します。そんな子供たちを写真で幾つかご紹介します。



写真1 クラス毎に国旗を掲げて集合した子供達。写真には写っていないが周りには親や親戚たちでぎっしり。



標高2500m位の山里で見かけた花。針のような沢山の花糸？ が風にサラサラ揺れる様が幻想的でした。



写真2 開会式を先導する子供たちの楽団。よく訓練されていて調子外れの音は出ません。



写真3 当地風オペラで西遊記を演じる子供達。台詞が長過ぎて間が空くのも愛嬌で盛んに声援を浴びていた。



写真4 元気いっぱい楽しさいっぱいで踊る子供達。将来この中から名のあるダンサーが出るかも。



写真5 母親やお姉さん達と同じように着飾って踊る女の子。小学生とは思えない綺麗な踊りを見せた。



写真6 幼なさが残るもののいっばしの歌謡と踊りを見せる子供達。親たちが回りでカメラやビデオを撮っています。何処の国でも親の思いは同じ。

国際児童節(六一児童節)：社会主義国家が定めた「子供の日」
 1949年、モスクワで国際民主婦人同盟の会議が開催され、全世界の児童の権利を守ることを目的にした「国際子どもの日」を6月1日とすることが決議された。その後、国際連合において1954年の総会で、全ての加盟国に対して「子どもの日」を制定し、世界の子どもたちの福祉を増進させる活動の日に充てるよう勧告した。社会主義国は、すでに採用していた6月1日の「国際子どもの日」をそのまま、各国の「子どもの日」とすることになった。
 (「サーチナ」ネット記事より)



写真7 未来の丹巴美人を思わせる女の子の伝統舞踊とそれをバックアップする男の子達の踊り。

●大川さんのホームページはこちら
<http://www.sgns.gov.cn/scholaweb/conts.htm>
<http://www.sgns.gov.cn/scholaweb/queenvally.htm>